

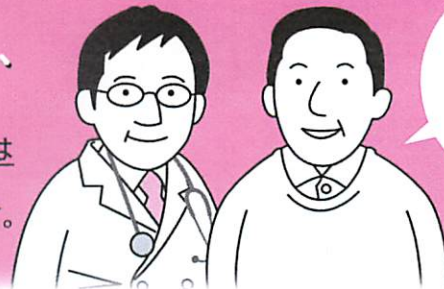
平成23年度(2011年4月~2012年3月)

生活習慣病予防健診のご案内

健診は健康状態を知る第一歩です。

協会けんぽでは、みなさまの健康の保持・増進のため、健診と健康づくりの支援を行っています。

- この健診は加入者(ご本人)の方が対象です。加入者(ご家族)の方は特定健康診査をお申し込みください。
- 年度内お一人様1回に限り、協会けんぽが健診費用の一部を補助します。
- 受診時に協会けんぽの加入者(ご本人)であることが必要です。



ずっと健康でいたいから、私は受診します。

このページに記載している金額は、協会と健診機関との間で契約している最高額であり、受診対象年齢を満たす加入者(ご本人)のみに適用されます。一部の健診機関では、ご家族の方や受診対象年齢に該当しないご本人などに対し、同等の健診や検査などをご案内していることがあります。その場合に適用される料金形態等は、各健診機関が独自に定める方法に従っていただくことになります。

生活習慣病予防健診では、次のような内容を検査します

健診の種類	検査の内容	受診対象年齢	自己負担額 ()内は、自己負担額に協会の補助を合計した場合の最高額です。
一般健診	<ul style="list-style-type: none"> ●診察等/問診、視診、触診、聴打診などを行います ●身体計測/身長、体重、腹囲、視力、聴力を測ります ●血圧測定/血圧を測り、循環器系の状態を調べます ●尿検査/腎臓、尿路の状態や糖尿病などを調べます ●便潜血反応検査/大腸からの出血を調べます ●血液検査/動脈硬化、肝機能などの状態や糖尿病、痛風などを調べます ●心電図検査/不整脈や狭心症などの心臓に関わる病気を調べます ●胸部レントゲン検査/肺や気管支の状態を調べます ●胃部レントゲン検査/食道や胃、十二指腸の状態を調べます 	35歳~74歳の方	最高 6,843円 (18,007円)
眼底検査	医師が必要と判断した場合のみ実施する検査です		最高 76円 (756円)
子宮がん検診 (単独受診)	問診・細胞診/子宮頸部の細胞を採取して調べます。 自己採取による検査は実施していません。	20歳~38歳の 偶数年齢女性の方	最高 630円 (2,100円)
一般健診に追加して受診する健診(セット受診のみで単独受診はできません)			
付加健診	<ul style="list-style-type: none"> ●尿沈渣顕微鏡検査 ●血液学的検査(血小板数、末梢血液像) ●生化学的検査(総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、アミラーゼ、LDH) ●眼底検査 ●肺機能検査 ●腹部超音波検査 	一般健診を受診する ①40歳の方 ②50歳の方	最高 4,583円 (9,166円)
乳がん・ 子宮がん検診 (どちらかのみ) (受診も可能)	乳がん: ●問診 ●視診 ●触診 ●乳房エックス線検査 子宮がん: ●問診 ●細胞診 ※子宮頸部の細胞を採取して調べます。 自己採取による検査は実施していません。	一般健診を受診する ①40歳~74歳の 偶数年齢の女性の方 ②36歳、38歳の女性 の方は子宮がん検診 のみ追加できます。	50歳以上: 最高 1,666円 (5,554円) 40歳~48歳: 最高 2,240円 (7,465円) ※乳がんのみの場合は負担から最高630円を引いた額、 子宮がんのみは最高630円
肝炎 ウイルス検査	<ul style="list-style-type: none"> ●HCV抗体検査 ●HBs抗原検査 	一般健診と同時受診 ※過去にC型肝炎ウイルス 検査を受けたことがある 方は受診できません	最高 595円 (1,984円)

※肝炎ウイルス検査のお申し込みについては、プライバシー保護の観点から、事業所・協会けんぽを経由せず、受診者ご本人が直接健診機関にお申し込みいただく方法としています。申込書は、健診機関の窓口または協会けんぽのホームページからダウンロードできます。
※多数の方を対象に実施する健診は、特定の疾病の発見を目的とした精密検査などは異なり、その精度には限界があります。日ごろから健康管理に心がけ、気がかりなことがありましたら専門医に相談しましょう。